

「学芸員」の撮る写真

写真は撮りますか？ 最近ではスマートフォンカメラ機能も向上し、専用のカメラがなくともキレイな写真が撮影できるようになりました。写真集やSNSなどで注目されるいわゆる「アート写真」は構図や色合い、撮影時のテクニック、場合によってはその後の編集技術まで含め、美しい作品です。

一方で、学芸員が撮る写真の多くは「記録写真」、文字通り客観的に事実を記録し、資料的価値をもつ写真です。特に、モノ（資料）を対象とする「資料写真」を撮影する機会が多いです。照明などの道具の話はまたの機会として、今回はどのような写真を撮るのか、ポイントと共にご紹介します。

撮影時の基本ルールとしては①背景をぼかしたりせず、事実通りを記録すること ②資料（被写体）全体を収めることです。背景のぼかしは主

役が引き立つためよく使われる手法ですが、記録写真では「客観的事実を記録」する必要があるため、原則使用できません。

図1・2は室内の撮影スペースで撮ったものです。背景紙・布に資料を配置し、照明なども整えて撮影されています。図1は虎の像、図2は漆器（複数同時撮影）です。全体といつつ虎は右側の面が、漆器は側面や裏面が写っていません。そのためいろいろな角度、遠近を調節して何パターンも撮影する必要があります。その中で漆器のように裏面に特徴的な部分を見つけると、部分的に撮影していきます（図3）。また、資料と緒に定規のようなスケールを置いて資料の大きさが分かるように撮影するのも一般的です（今回、スケール部分はトリミングされています）。

ではこうした環境が整っていない野外での記録はどうするのかというと、

重要な点2つは変わらず、身近なものをスケール代わりにして撮影するなどの工夫が必要です（図4）。多くのペンは長さが14cmです。それを知っていれば、スケールが手元になくても大きさが分かるのです。そして、野外での写真は背景も大変重要な情報になります。いつどこで、どのような状況で…そうした情報が写真1枚から得られるからです。そのため、ぼかしたりせず、そのままを撮影することが求められるのです。

一見すると、アート写真に比べて興味を引きにくい、つまらないようにも見えがちな記録写真ですが、とてもたくさん情報が入められています。ぜひ博物館などを訪れた際や、図録を見る際にはどんな写真があるのか、どんな情報が込められているのか、注目しながら見てみてください。

（坂本恵衣）

※今回はあくまで例としての話なので、館や状況によって条件は異なります。



図2



図1

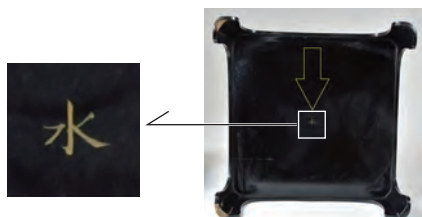


図3



図4



学芸員
坂本 恵衣
Kei Sakamoto

専門は文化人類学。地域信仰について調べるとともに、石狩の人々の生活の中で宗教がどのように考えられていたのか、歴史の変遷などを研究する。

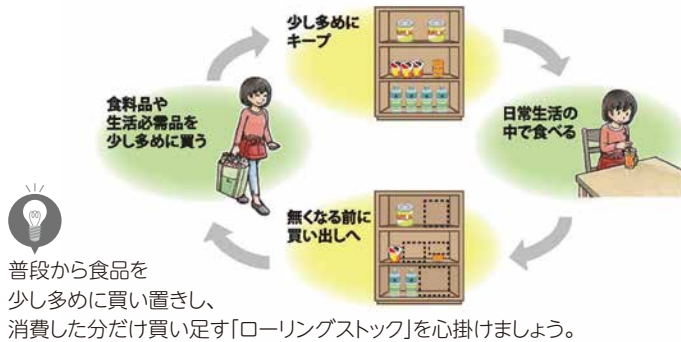
9月は防災月間です

☎ 危機管理課 ☎ 72・3190

災害に備えて やっておくべきこと

災害によっては自宅での避難も考えられるため、飲食物品・生活必需品の備蓄を3日分・1週間分用意しましょう。断水に備え、お風呂に水をためておくことも有効です。

また、避難の際に持ち出す非常時持出品も用意しておきましょう。袋にまとめるといつでも持ち出せます。



災害時は正しい情報を！

災害発生時には、身の安全を守る何よりも大切です。その際、「避難が必要なのか」「災害場所はどこなのか」「規模はどのくらいなのか」などの正しい情報を得ることで、焦らず冷静に行動することが出来ます。

市では、いち早く正しい災害情報を伝えるために石狩市行政情報ポータル「いしぽ」や各種SNS、メール配信サービス、石狩市緊急情報電話配信サービス、防災行政無線(☎72・3150で内容を確認できます)を活用しています。これらの中には事前登録や配信設定が必要なものもあるため、万が一に備えて今から登録・設定をお願いします。

申し込み・登録方法など

●石狩市行政情報ポータル「いしぽ」

スマホにインストールして使用するアプリです。災害時の緊急情報や市



▲iPhone ▲Android

からのお知らせをプッシュ通知で受け取れるほか、市の施設予約や電子回覧板機能も利用できます。

●石狩市公式LINE

メニューの受信設定から「災害・防災情報」を選択してください。



▲LINE

●メール配信サービス

二次元コードから空メールを送信。その後受信するメールにあるリン



▲メール

札幌圏消防指令センターで 119番通報受け付けがスタート

現場到着への影響は？

19日(金)から札幌圏消防指令センターで119番通報受け付けが始まります。受付先は変更になりますが、これまでどおり消防車、救急車が出動する場所に変更はなく、現場到着への影響はありません。

なお、119番通報時に緊急車両を向かわせる場所を聞かれた時は「石狩市」と市町村名をしっかりと伝えましょう。

ク先にアクセスし、「緊急・災害情報」を選択してください。

●X(北海道石狩市災害情報)

アカウント@bousai.shikari



▲X

●石狩市緊急情報電話配信サービス

災害情報や避難情報を固定電話やファクスでお知らせします。登録申込書を提出してください。



▲市HP

☎ 石狩北部地区消防事務組合 消防本部警防課 ☎ 74・5375

新しい取り組み

通報者と消防の指令センター員が映像を送受信できる映像通報システムの運用が始まります。指令センター員からの説明どおりにスマートフォンなどを操作すると、映像通報が開始されます。音声に加え、映像によって傷病者や現場の状態を把握できるので、確かなアドバイスができ、スムーズな情報共有が可能となります。

そのほかのサービス

●NET119緊急通報システム

音声による119番通報が困難な方のためのシステムです。これまでどおり利用できます。

●災害案内電話サービス

19日から出動状況を電話で確認できます。

☎ 050・5846・3018

●災害出動情報

19日から札幌市HPで確認できます。



▲HP



避難する場所や経路については今一度確認を！実際に歩いてみることも重要です。



◀地区防災マップ(市役所3階危機管理課で配布。市HPで閲覧可)